Panasonic

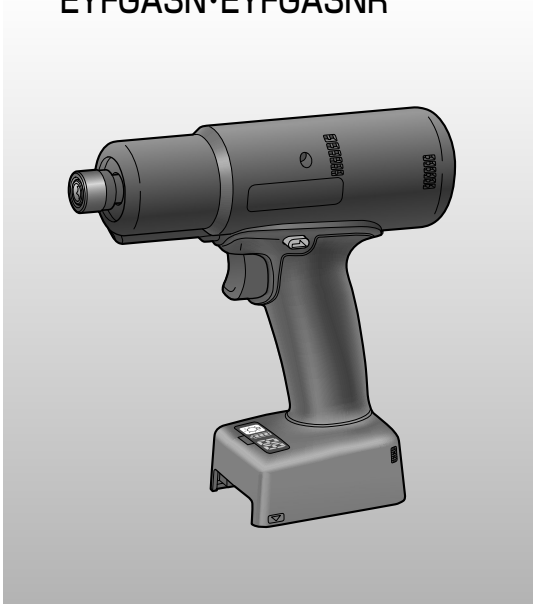
保　管　用

取扱説明書

＜工場用＞

充電スクリュードライバー

品番 EYFGA1N・EYFGA1NR
EYFGA2N・EYFGA2NR
EYFGA3N・EYFGA3NR



このたびはパナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(2〜6ページ)を必ずお読みください。**
- この取扱説明書は大切に保管してください。

もくじ

ご使用前に

安全上のご注意 ..... 2〜6
各部のなまえとはたらき ..... 7〜9
・別売品 8

使いかた

充電する 10
ご使用前のリモコンの準備 11
ご使用前の本体の準備 ..... 12〜13
・締付トルク目安表(参考値) 13
ご使用方法 ..... 14〜15
作業終了 15
本体パネルの機能について
・LEDライトを利用する／
電池残量ランプの見かた／
電源自動停止機能 ..... 16〜17
本体の機能を設定する ..... 18〜19
回転数調節機能 20
スピード切替機能／斜め締め低減機能／
スピードコントロール機能 21
締付不良お知らせ機能 22
締付本数お知らせ機能 22
無線使用範囲制限機能 23
本体の各種設定をする ..... 23〜24
・ブザー設定 23
・LEDライト設定 24
・初期化設定 24
本体の設定状態を確認する 25

お手入れ・保管

お手入れ・保管 26

お知らせ

電池パックについて 26
能力・仕様 ..... 27〜28

点検方法

エラー表示について 29
故障かな？と思ったとき ..... 30〜35
アフターサービス ..... 裏表紙

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠危険

禁止	●当社充電工具専用の指定の充電式電池パック以外を使わない。 改造した電池パック(分解して内蔵部品を交換した電池パックを含む)も使用しない。 ●電池パックは、火への投入、加熱をしない。 ●電池パックに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしない。 ●電池パックの端子部を金属などで接触させない。 ●電池パックを釘などの金属と一緒に持ち運んだり保管しない。 ●電池パックを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置をしない。 ●劣化した電池パックは使用しない。 発熱・発火・破裂のおそれがあります。
禁止	●電池パックは専用充電器以外では充電しない。 電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。
必ず守る	●本体または充電器からはずした後は、電池パックにパックカバーを必ず取り付ける。 取り付けないと電池端子が短絡して発火のおそれがあります。

⚠警告

必ず守る	●トルクの日常管理を行なう。 守らないとトルク変動によるボルト緩みが生じ、事故の原因になります。

⚠警告

必ず守る	●作業を中断するときや使用していないときは正逆切替スイッチをスイッチロックの位置にする。 ●ビットや付属品の交換時、本体保管時は必ず正逆切替スイッチをスイッチロックの位置にし、電池パックを本体からはずす。 守らないと不意に動作して事故になるおそれがあります。
	●電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする。 ・液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。 ・液が体や衣服に付くと、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分洗い流したあと、医師にご相談ください。 ・液漏れした電池パックは、使用を中止し、火に近づけないようにしてください。すぐに販売店にご相談ください。
	●作業個所に電線管や水道管、ガス管などの埋設物がないことを確認する。 埋設物に触れると感電や漏電・ガス漏れなどの事故につながるおそれがあります。
	●騒音の大きい作業では耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用する。 守らないと聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。
	●作業時は保護めがねを使用する。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用する。 守らないと目、のどに傷害を受けるおそれがあります。
	●電源プラグは根元まで確実に差し込む。 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。
	●電源プラグのほこり等は定期的にとる。 プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
	●指定の付属品やアタッチメントを使用する。 守らないとけがをするおそれがあります。
	●作業する場所は十分に明るくする。 暗く視界が悪いと事故やけがの原因になります。
	●加工するものはしっかり固定する。 不意に動き、けがをするおそれがあります。 安全のため、固定にはクランプや万力などを利用してください。
禁止	●コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない。 たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

⚠警告

禁止	●**電源コード・プラグを破損するようなことはしない。(傷つけたり、破損させたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだり、束ねたりしない)** 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。 コードやプラグは定期的に点検し、破損している場合は販売店にご相談ください。
	●**換気のよくない場所で充電しない。** ●**充電中、電池パックや充電器を布などで覆わない。** ●**直流電源やエンジン発電機・変圧器で充電器を使用しない。** ●**可燃性の液体やガスのある場所で、使用したり充電したりしない。** 発熱・発煙・発火・破裂のおそれがあります。
	●**本体や電池パックから発煙したときは、煙を吸い込まない。** 身体に害を及ぼすおそれがあります。
	●**本体または充電器の風穴をふさがない。** やけどをしたり異常加熱により、発火するおそれがあります。
	●**本体や充電器の風穴から出る熱風を直接肌に当てない。** ●**作業直後はビットなど先端工具類やネジ・切りくず・電池端子に触れない。** 高温になっており、やけどをするおそれがあります。
分解禁止	●**改造はしない。また、分解したり修理をしない。** 火災・感電・けがのおそれがあります。 修理はお買い上げの販売店または、当社ご相談窓口にご相談ください。
水ぬれ禁止	●**雨中や、湿ったまたはぬれた場所で、使用したり充電したりしない。** 感電や発煙のおそれがあります。
ぬれ手禁止	●**ぬれた手で電源プラグをコンセントから抜き差ししない。** 感電のおそれがあります。
電源プラグを抜く	●**使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。** 守らないと絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

⚠注意

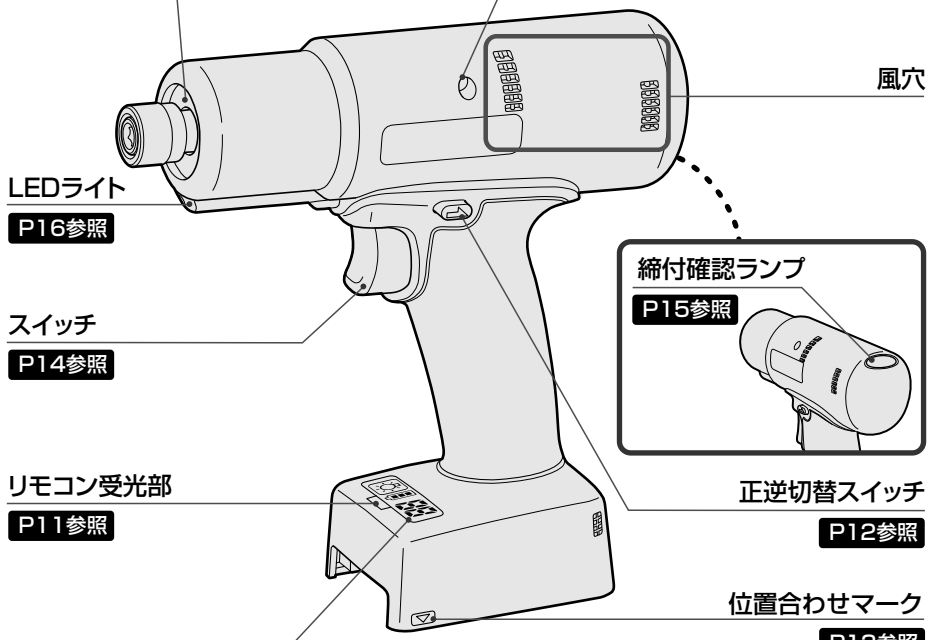
禁止	●**指定された用途以外に使用しない。** けがをするおそれがあります。
	●**LEDライトを懐中電灯として使用しない。** 十分な明るさを確保していないため、このライトを使って暗い場所を移動すると事故のおそれがあります。
	●**LEDライトの光を直接目に当てない。** LEDライトの光が連続して目に当たると目を傷める原因になります。
	●**使用中は軍手など巻き込まれるおそれがある手袋を着用しない。** 回転部に巻き込まれ、けがをするおそれがあります。
	●**子供の手の届くところに置かない。** 事故やトラブルのおそれがあります。
	●**本体や電池パックに油など異物がついた状態で使用しない。** 本体や電池パックが落下して事故になるおそれがあります。 また、内部に油などの異物が入ると、発熱・発火・破裂のおそれがあります。
	●**使用中はビットなどの回転部や切りくずに体または体の一部を近づけない。** 不意に外れたり破損したりしたビットや切りくずが当たってけがのおそれがあります。ビットなどの先端工具は定期的に交換してください。
	●**本体を、50 ℃以上になる場所に保管しない。** 動作異常のおそれがあります。
	●**モータがロックするような無理な使いかたはしない。** 発煙、発火のおそれがあります。 安全に能率よく作業するため、能力に合った速さで作業してください。
	●**無理な姿勢で作業をしない。** 転倒してけがをするおそれがあります。 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
	●**疲れている場合は使用しない。** 事故やけがのおそれがあります。
	●**子供など作業者以外を作業場に近づけたり、充電工具や充電器に触れさせたりしない。** けがのおそれがあります。
	●**細径ドリル使用時はドリルに無理な力をかけない。** 折れると飛散して、けがのおそれがあります。
必ず守る	●**電池パックは赤ラベルが見えなくなるまでスライドして固定し、はずれないことを必ず確認する。** 守らないと電池パックが落下し事故になるおそれがあります。

⚠注意

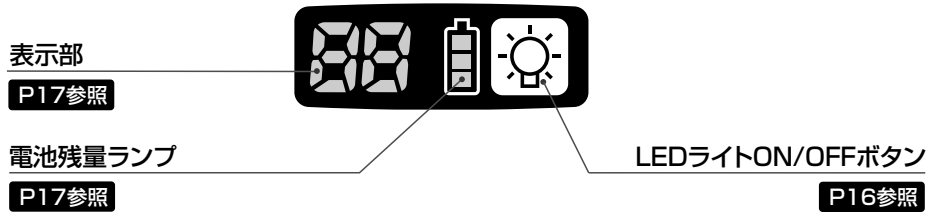
必ず守る

- **本体が熱くなったら作業を中断し、温度が下がってから使用する。**
  守らないとやけどをするおそれがあります。
  複数の電池パックにわたる連続作業はしないでください。
- **電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く。**
  コードを持って抜くと感電・ショートの原因になります。
- **使用前に、本体、電池パック、充電器および先端工具やその他の部品が損傷がなく正常に作動することを確認する。**
  守らないと破損などによりけがをするおそれがあります。
- **ビットなど先端工具類や付属品は取扱説明書に従い確実に取り付ける。**
  確実に取り付けないと、はずれてけがをするおそれがあります。
- **調節に用いたキーやレンチなどの工具類を取りはずしてから使用する。**
  守らないと不意にはずれて、けがのおそれがあります。
- **作業する場所はきれいに保つ。**
  散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- **髪や衣服、アクセサリーなどが巻き込まれないような服装で作業する。**
  守らないと回転部に巻き込まれ、けがをするおそれがあります。
  長い髪は、帽子やヘアカバーで覆うなどし、だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。
- **取り扱いや作業の方法、周りの状況などに十分注意し、常識を働かせて作業する。**
  守らないと事故やけがのおそれがあります。
- **屋外で充電する場合は、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用する。**
  守らないとケーブルが破損して発火、発煙のおそれがあります。
  使用前にコードの破損が無いか点検してから使用してください。
- **刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保つ。**
  破損した刃物類で作業すると、けがのおそれがあります。
- **屋外での作業の場合には、滑り止めのついた履物を使用する。**
  守らないと滑ってけがの原因になります。

本　体



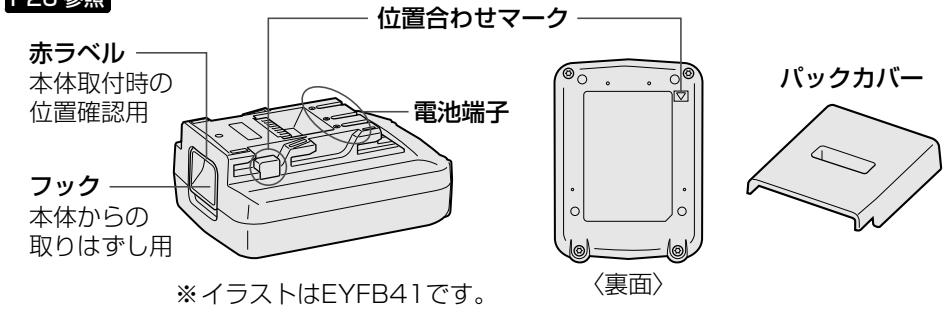
本体パネル



別売品

電池パック

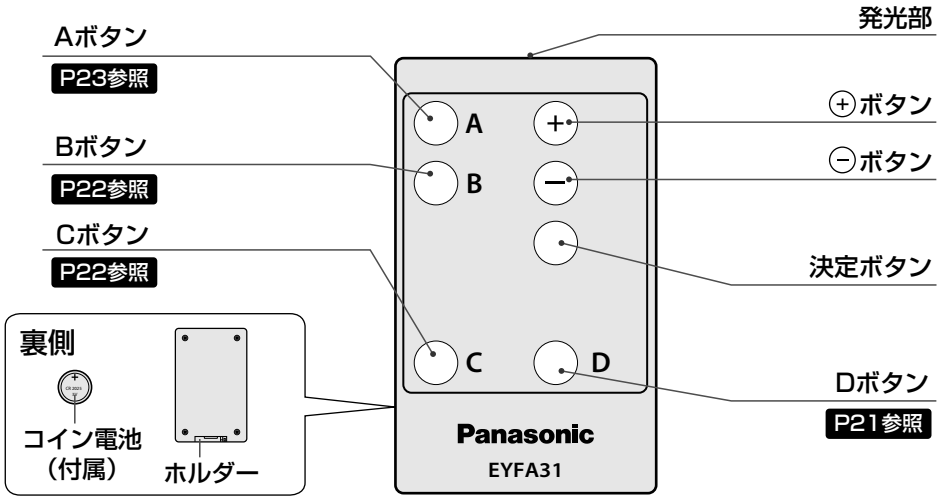
P26 参照



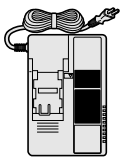
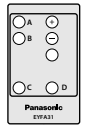
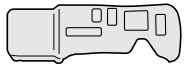
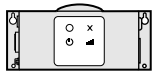
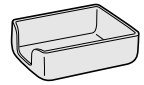
※イラストはEYFB41です。

ワイヤレスリモコン

※ワイヤレスリモコンを本書内では「リモコン」と記載しています。



別売品一覧

急速充電器 EZ0L81 	**ワイヤレスリモコン** EYFA31 **コイン電池(付属)** CR2025 	**本体プロテクター** EYFA05-A(青)、-Y(黄)、-H(グレー) 
リチウムイオン電池パック (14.4V) EYFB41 EYFB42	**受信機** EYFR02 	**電池プロテクター** EYFA04-H(グレー) ※EYFB42用 EYFA06-H(グレー) ※EYFB41用 
クラッチハンドル EYFA32	**吊り下げ金具** EYFA40	

ご注意

吊り下げ金具は、バランサー専用です。強い力や衝撃が加わると折れて本体が落下する場合があります。

充電する

スライド式リチウムイオン電池パックの充電ができます。

充電の前に

(EYFB41、EYFB42を充電する場合)
充電器は0～40 ℃の場所に設置し、充電する場所の温度に近い電池パック(充電する場所との温度差が15 ℃以内)を充電してください。

電池パックの温度が0 ℃以下または充電する場所との温度差が大きい場合は、十分に充電できていない場合があります。その場所で1時間以上放置してから充電してください。

お願い

- 電池パックを2パック連続で充電したときは充電を約30分休止し、充電器の温度が下がってから充電してください。
- 電池パックを差し込んだ直後にファンの送風音がしなければ充電器の故障が考えられます。ただちに修理をご依頼ください。裏表紙参照

お知らせ

- 充電器は電池パックの温度、充電モードにより、冷却ファンを制御しています。充電中にファンの動作が変化しますが、故障ではありません。
- 電源プラグを抜いた後も電源ランプが約10秒点灯している場合がありますが、故障ではありません。

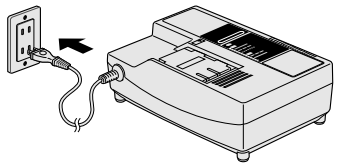
※この取扱説明書に記載の温度は目安です。実際には、条件により、多少のズレが生じる場合があります。

充電のしかた

- お買い上げ時はフル充電されていません。ご使用前に必ず充電してください。

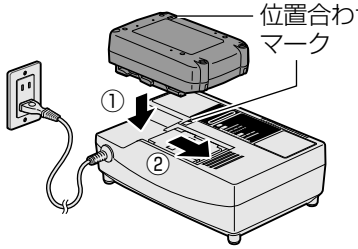
1 コンセントに電源プラグを差し込む

電源ランプ▶点灯
交流100 V



2 電池パックを充電器に装着する

①位置合わせマークを合わせて差し込む
②底に当たったら矢印の方向に引く



充電状態ランプ▶充電状態を表示

実用充電とフル充電について

実用充電: フル充電の約80%以上の充電が完了した状態。急速に充電します。
フル充電: 実用充電完了の後も、充電を続けると電流を下げて電池の能力一杯までゆっくり充電します。

- 充電時間は P28参照

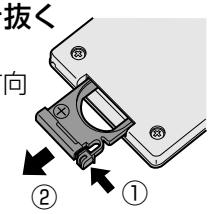
3 充電後は、電池パックをはずし、電源プラグをコンセントから抜く

ご使用前のリモコンの準備

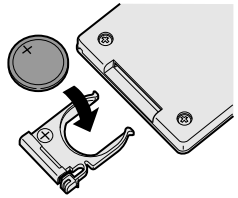
コイン電池(付属)を入れる

1 ホルダーを引き抜く

①ツメ部分を矢印の方向に押さえながら
②ホルダーを手前に引き抜く



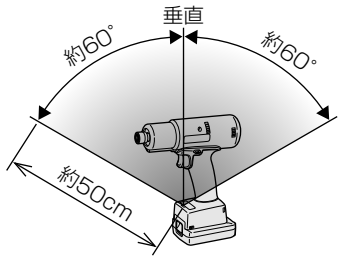
2 電池を入れて、ホルダーを戻す



お知らせ

- ワイヤレスリモコンを本体のリモコン受光部の近くで操作しても動作しない場合は、コイン電池(CR2025)が消耗しています。新しい電池と交換してください。
- 付属のコイン電池はお試し用のため、使用時間が短い場合があります。

ワイヤレスリモコンが使える範囲



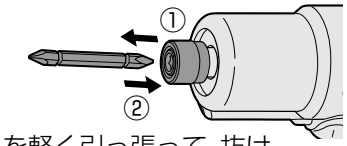
リモコン受光部に対して、
距離:約50 cm以内
角度:垂直方向から前後左右に約60°

- 次の場合、この範囲内であっても操作できない場合があります。
  - リモコンの発光部と受光部の間に障害物がある
  - リモコン受光部に強い光が当たっている(屋外など)
  - リモコンの発光部・受光部が汚れている

1 正逆切替スイッチを中央で止め、スイッチロックの位置にする

2 ビットを取り付ける

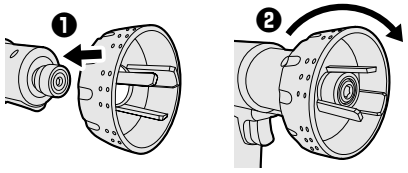
①ビットホルダーを引っ張りながら
②ビットを差し込む
③ビットホルダーを離す



●ビットを軽く引っ張って、抜けないことを確認してください。

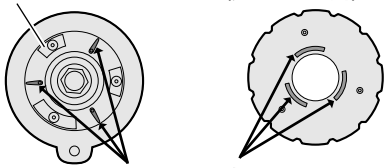
3 締付トルクを設定する

①クラッチハンドルのリブ(短いリブ側)を本体のシャッター穴に合わせるように❶の方向に挿入し、クラッチハンドルを❷の方向に回しシャッターを開ける。



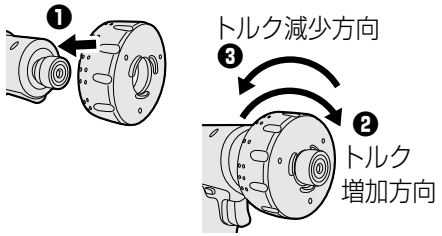
本体側
シャッター(閉状態)

クラッチハンドル
(短いリブ側)

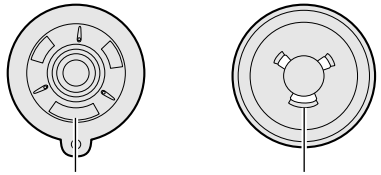


シャッターを開けるときはこれらのリブを引っ掛ける

②本体のシャッター穴にクラッチハンドルのリブ(長いリブ側)を❶の方向に挿入し、クラッチハンドルを❷または❸の方向に回しクラッチトルクを設定する。

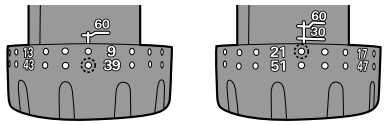


●本体のシャッター穴の幅が広い方とクラッチハンドルの幅が広いリブを合わせるようにクラッチハンドルを挿入してください。



幅が広い穴　　幅が広いリブ

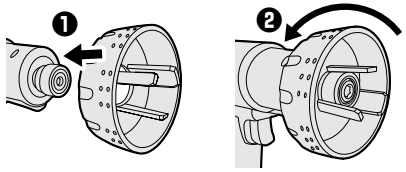
●クラッチトルクは、1～60段階に設定することができます。



例
クラッチ設定40

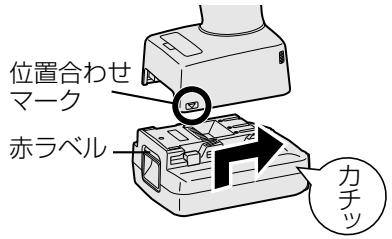
例
クラッチ設定20

③設定終了後は、クラッチハンドルを❶の方向に挿入し、クラッチハンドルを❷の方向に回してシャッターを閉じる。



4 位置合わせマークで合わせながら電池パックを取り付ける

●赤ラベルが見えなくなるまでスライドして固定し、はずれないことを必ず確認してください。



5 必要に応じてリモコンで機能の設定をする

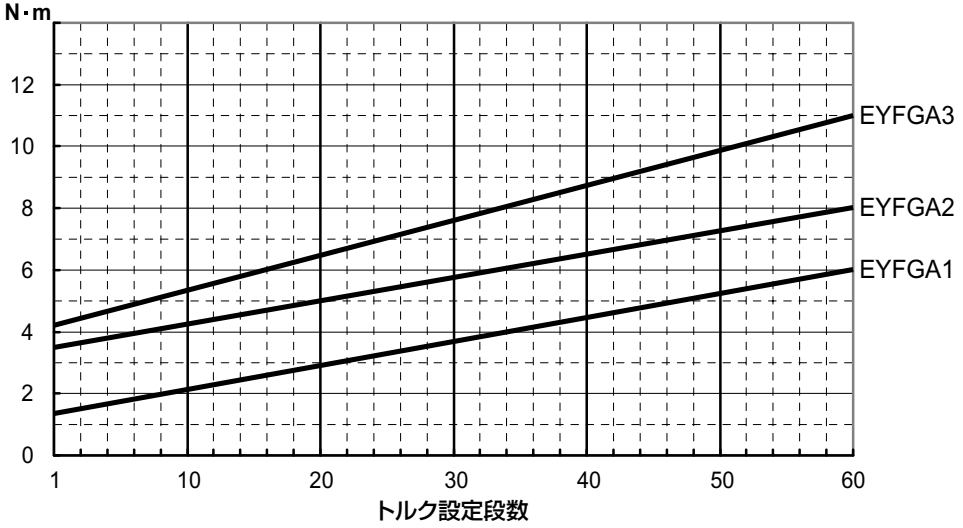
回転数調節機能	P20参照
スピード切替機能	P21参照
斜め締め低減機能	P21参照
スピードコントロール機能	P21参照
締付不良お知らせ機能	P22参照
締付本数お知らせ機能	P22参照
無線使用範囲制限機能	P23参照
ブザー設定	P23参照
LEDライト設定	P24参照
初期化設定	P24参照

ご注意

●シャッターを必ず閉めてからご使用ください。異物が入り故障の原因になります。
●クラッチトルクが60段を超えることがありますが、60段までの設定でご使用ください。

締付トルク目安表(参考値)

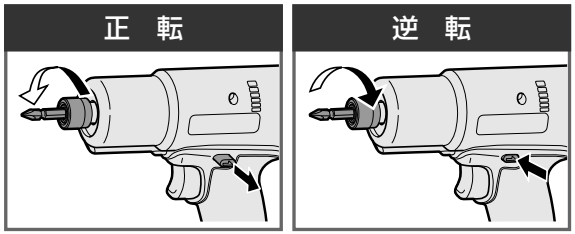
本データは下記測定条件のもとで測定した参考値です。
実際の作業では、周囲条件(締付ボルト・部材・固定方法等)により、変化します。

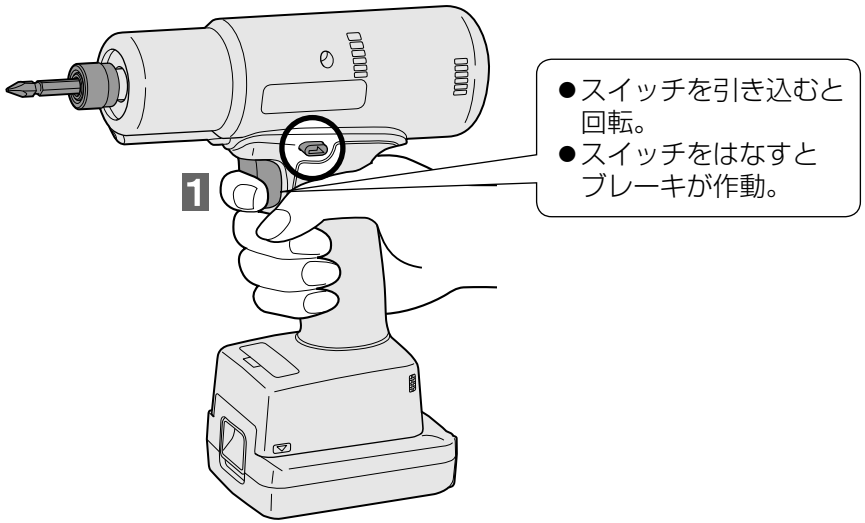


測定条件
当社規定の測定条件による。

ご使用方法

1 正逆切替スイッチで正転／逆転を決めてスイッチを入れる





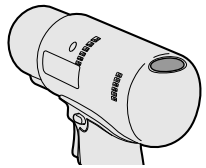
ご注意

●正逆切替スイッチの操作はモーターが停止してから行なってください。
完全に停止しない状態での操作は故障の原因になります。

**リチウムイオン電池パックの使用温度範囲は0 ℃～40 ℃です。
寒冷地などで0 ℃以下に冷えた電池パックをそのまま使うと、本体が正常に動作しない場合があります。このときはご使用前に電池パックの温度を上げるために10 ℃以上の場所に1時間以上放置し、電池パックの温度が上がったあとで使用してください。**

締付確認ランプ

●締付確認ランプで、トルク制御機能が作動したかどうか確認することができます。

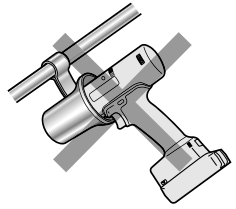


本体の状態	ランプの表示
締付完了（トルク制御機能作動）	緑点灯（約2秒）
締付未完了	赤点灯（約2秒）
1秒以内の着座後の2度締めによる締付完了	
電源自動停止機能が作動している	赤点灯（約5分）

お知らせ

●逆転作業時、締付確認ランプは点灯しません。
●スイッチを引くとランプは消灯します。

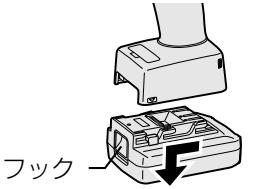
●本体をホルダーに差し込んで使用する場合、本体のスイッチに当たらない大きさのホルダーを使用してください。ホルダーがスイッチに当たるとスイッチが引き込み状態になり電池パックが放電して電池パック故障の原因になります。



作業終了

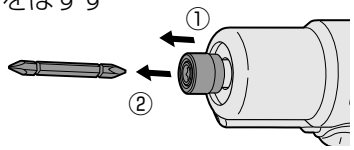
1 正逆切替スイッチを中央で止め、スイッチロックの位置にする

2 フックを押し下げながら電池パックを本体前方にスライドさせて電池パックをはずす



3 ビットをはずす

①ビットホルダーを引っ張りながら
②ビットをはずす



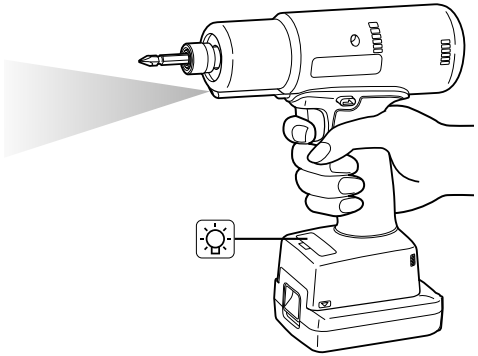
本体パネルの機能について

本体パネル内のすべてのランプが消灯しているときは、電源がOFFの状態です。スイッチを引いて一度動作させてから操作してください。

- 次の場合、電池の消耗をおさえるため電源がOFF状態になり、LEDライトとすべての表示が消えます。
  ·電池パック取り付け直後
  ·約5分何も操作しなかったとき

LEDライトを利用する

LEDライトON/OFFボタン を押すたびにライトが点灯／消灯する

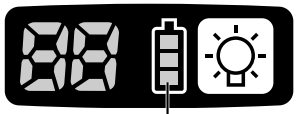


お知らせ

- LEDライト点灯中に、何も操作しない状態が約5分経過すると、自動的に消灯します。
- LEDライトは微少電流で点灯します。本体作業能力にはほとんど影響ありません。
- スイッチ連動にも切替可能です。
P24参照

電池残量ランプの見かた

- 電池残量を確認することができます。
- 電池残量は、周囲温度、電池特性等で多少異なりますので、目安としてご使用ください。



電池残量ランプ

表示状態	電池残量
	十分な状態
	約40%以下の状態
点滅	**約20%以下の状態（充電時期の目安）** ⇒早めに電池パックを充電してください。
点滅	**電池残量なし** ⇒電池パックを充電してください。 （※電源自動停止機能が作動）

※電源自動停止機能の説明は右記

電源自動停止機能

- 電池電圧が一定基準まで低下した場合、モーターの駆動を停止する機能です。この機能が作動すると電池パックを充電（または別の充電された電池パックと交換）するまではスイッチを引いても本体は動きません。

表示状態
点滅

お知らせ

- 電源自動停止機能が働くと、電池残量ランプが3つとも点滅します。
- ランプが点滅したときは、すぐに電池パックを充電（または別の充電された電池パックと交換）してください。
- 電源自動停止機能が働いた電池パックは充電完了まで充電してください。充電が不十分だと電源自動停止機能が解除されない場合があります。
- モーターが止まったときには自動復帰します。

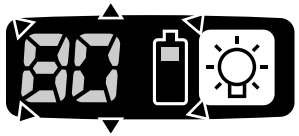
本体の機能を設定する

作業に合わせて設定を変更できます

設定の流れ

本体で操作

①電池パックを抜き差しする
②☼ ボタンを押しながらスイッチを引き込み、☼ ボタンとスイッチを離す



▼

本体パネルが点滅し、設定変更モードになる P20参照

▼

リモコンで操作

回転数調節機能	①＋／－ ボタンを押して作業に合った回転数を設定	●作業に合わせてスピード（回転数）を調節することができます。 P20参照
スピード切替機能	①Dボタンを2回押す ②＋／－ ボタンを押して回転スピードを切り替える時間を設定	●設定時間経過後、自動で低速スピード（300 rpm）に切り替えます。 P21参照
斜め締め低減機能	①Dボタンを1回押す ②＋／－ ボタンを押してON／OFFを設定	●最初に約360°逆回転させることでネジ山の噛み込みを低減します。 P21参照
締付不良お知らせ機能	①Bボタンを2回押す ②＋／－ ボタンを押して異常と判定する時間を設定	●2度締め、噛み込み等で設定時間より早く作業が終わった場合、赤ランプが点灯します。 P22参照
締付本数お知らせ機能	①Cボタンを2回押す ②＋／－ ボタンを押して締付本数を設定	●設定した締付本数に達すると本体が作動できないようにロックします。 P22参照
無線使用範囲制限機能	①Cボタンを3回押す ②＋／－ ボタンを押してON／OFFを設定	●無線通信ができないとき、本体が作動しないようにロックします。 P23参照
ブザー設定	①Aボタンを1回押す ②＋／－ ボタンを押してブザーモードを設定	●消音、緑点灯でブザー、赤点灯でブザーの3モードから選択できます。 P23参照
LEDライト設定	①Bボタンを1回押す ②＋／－ ボタンを押して点灯モードを設定	●LEDライトボタン連動、スイッチ連動の2モードから選択できます。 P24参照
初期化設定	①Cボタンを1回押す	●本体の設定をメーカー出荷時の状態に戻します。 ●締付本数お知らせ機能、エラー表示を解除します。 P24参照
スピードコントロール設定	①Bボタンを3回押す ②＋／－ ボタンを押してON／OFFを設定	●スピードコントロール（回転数調節）のON／OFFを設定できます。 P21参照

▼

決定 ボタンを押す

お知らせ

●リモコンで操作中、A／B／C／Dボタンを押して、操作する機能を切り替えることもできます。

回転数調節機能

●作業に合わせてスピード(回転数)を調節することができます。

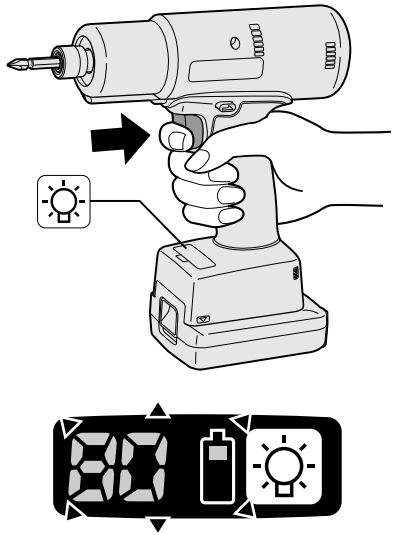
本体を設定変更モードにする

1 本体パネルを消灯状態にする

●パネルが点灯している場合は、一度電池パックを取りはずし、再度取り付ける。

2 ボタンを押しながらスイッチを引き込み、ボタンとスイッチを離す

●すべてのLEDランプが点灯後、本体パネルが点滅し設定変更モードになります。

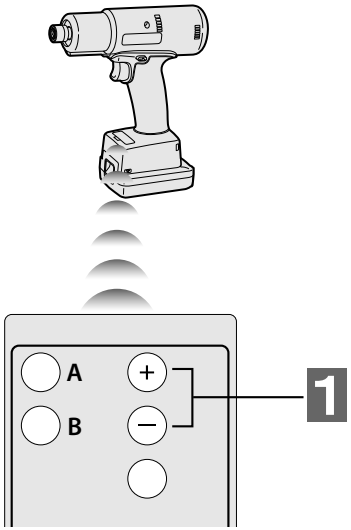


お知らせ

●メーカー出荷時は下記値に設定されています。
EYFGA1:80
EYFGA2:75
EYFGA3:45

●この状態で5分間何も操作をしないと本体パネルは消灯状態になります。

回転数調節の設定を行なう



1 ⊕⊖ ボタンを押して作業に合った段数を設定する

⊖ボタンを押すたびに　⊕ボタンを押すたびに

78 ← 79 ← 80 → 15 → 16
77 → … ← 17

	回転数	GA1	GA2	GA3
80	800	設定可能	設定不可	
≀				
75	750			
≀				
45	450			
≀				
15	150			

2 決定ボタンを押して確定させる

スピード切替機能

●着座手前までは高速で締付、途中から低速に切り替えることができます。設定時間経過後は300 rpmの低速スピードに切り替えることで着座時の部材への衝撃を緩和します。

1 本体を設定変更モードにする

P20参照

2 Dボタンを2回押す

●スピード切替機能の設定値が表示されます。

3 ⊕⊖ ボタンを押して時間を設定する

操作	表示	秒数
⊕ ↕ ⊖	30	3秒
	≀	≀
	1	0.1秒
	0	OFF

4 決定ボタンを押して確定させる

お知らせ

●締付開始時のスピードは、回転数調節機能で設定されたスピードです。

斜め締め低減機能

●最初に約360°逆回転させることでネジ山の噛み込みを低減します。

1 本体を設定変更モードにする

P20参照

2 Dボタンを1回押す

●斜め締め低減機能の設定値が表示されます。

3 ⊕⊖ ボタンを押してON／OFFを設定する

表示	機能
R0	OFF
R1	ON

4 決定ボタンを押してON／OFFを確定させる

スピードコントロール機能

●スピードコントロール(回転数調節)のON／OFFを設定できます。

1 本体を設定変更モードにする

P20参照

2 Bボタンを3回押す

●現在の設定値が表示されます。

3 ⊕⊖ ボタンを押してスピードコントロールを設定する

表示	機能
P0	スピードコントロール有
P1	スピードコントロール無

4 決定ボタンを押して確定させる

お知らせ

●斜め締め低減機能をONにしている場合は360°逆回転した後、設定時間をカウントします。

締付不良お知らせ機能

●2度締め、噛み込み等で設定時間より早く作業が終わった場合、赤ランプが点灯します。

1 本体を設定変更モードにする
P20参照

2 Bボタンを2回押す

●締付不良検知機能の設定値が表示されます。

3 ⊕⊖ ボタンを押して時間を設定する

操作	表示	秒数
⊕ ↕ ⊖	30	3秒
	≀	≀
	1	0.1秒
	0	OFF

4 決定ボタンを押して確定させる

締付本数お知らせ機能

●設定した締付本数に達すると本体が作動できないようにロックします。定期的な本体性能の点検などに便利です。

1 本体を設定変更モードにする
P20参照

2 Cボタンを2回押す

●設定値が表示されます。

3 ⊕⊖ ボタンを押して設定する

操作	表示	締付本数
⊕ ↕ ⊖	99	99万本
	≀	≀
	1	1万本
	0	OFF

4 決定ボタンを押して確定させる

お知らせ

●締付本数が残り1万本以下になると表示部が“設定値”と“1”を交互に表示します。
現在のカウント数を保持したまま点検時期を延長するには現状の設定値よりも高い設定値に設定します。
カウント回数を0に戻すには、初期化をします。
●設定本数に達すると、設定値と0を交互に表示します。

無線使用範囲制限機能

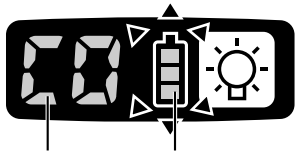
(EYFGA1NR・2NR・3NRのみ設定可能)

●登録された本体と受信機の無線通信ができない場合、本体が作動しません。
●使用範囲制限機能が作動し、本体が動作しないとき(E9表示のとき)、受信機の電源が入っていることを確認のうえ、無線通信範囲内で電池パックを抜き差ししてください。

1 本体を設定変更モードにする
P20参照

2 Cボタンを3回押す

●使用範囲制限機能の設定値が表示されます。



3 ⊕⊖ ボタンを押してON／OFFを設定する

表示	使用範囲制限機能
C0	OFF
C1	ON(無線通信範囲外では本体が作動しません)

4 決定ボタンを押してON／OFFを確定させる

お知らせ

●無線通信機能の使いかたは受信機の取扱説明書をご参照ください。

本体の各種設定をする

ブザー設定

●ブザーを3モードから選択できます。

1 本体を設定変更モードにする
P20参照

2 Aボタンを1回押す

●現在の設定値が表示されます。

3 ⊕⊖ ボタンを押して設定する

表示	機能
b0	ブザーなし
b1	緑ランプでブザー
b2	赤ランプでブザー

4 決定ボタンを押して確定させる

お知らせ

●メーカー出荷時は“b0”に設定されています。
●他の機能設定後にブザー設定をする場合にはAボタンを2回押してください。

LEDライト設定

●LEDライトの点灯を2モードから選択できます。

1 本体を設定変更モードにする
P20参照

2 Bボタンを1回押す

●現在の設定値が表示されます。

3 ⊕⊖ ボタンを押して点灯モードの設定をする

表示	機能
L1	LEDライトON／OFFボタン切替
L2	スイッチ連動

4 決定ボタンを押して設定を確定させる

お知らせ

●メーカー出荷時は“L1”に設定されています。

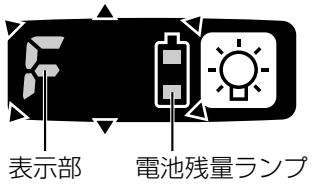
初期化設定

●本体の設定をメーカー出荷時の状態に戻します。
●エラー表示 P29参照 を解除します。

1 本体を設定変更モードにする
P20参照

2 Cボタンを1回押す

●本体パネルが点滅状態になります。
・表示部　　:Fが点滅
・電池残量ランプ :上段と下段が点滅



3 決定ボタンを押して設定を確定させる

●本体パネルが点滅から点灯に変わります。

メーカー出荷時の設定

●回転数調節機能
⇒GA1:80　GA2:75　GA3:45
●スピード切替機能⇒0
●斜め締め低減機能⇒R0
●スピードコントロール機能⇒P0
●締付不良お知らせ機能⇒0
●締付本数お知らせ機能⇒0
●無線使用範囲制限機能⇒C0
●ブザー設定⇒b0
●LEDライト設定⇒L1

●本体停止時、約2秒間現在設定されている設定値を表示します。
●本体パネルが消灯状態になっている場合、設定状態の確認はできません。一度スイッチを引いて、点灯状態にしてください。

回転数調節、ブザーの設定状態を確認する

1 Aボタンを押す

●回転数、ブザーの設定値を順に表示します。
例:回転数が500 rpm、ブザーが緑ランプでブザーに設定されている場合
“50” → “b1”

LEDライト設定、締付不良お知らせ機能、スピードコントロールの設定状態を確認する

1 Bボタンを押す

●LEDライト設定、締付時間設定値、スピードコントロール設定をBボタンを押すごとに順に表示します。
例:LEDライトが“L1”、締付時間が“20”、スピードコントロール設定が“P0”に設定されている場合
“L1” → “20” → “P0”

識別、斜め締め低減機能、スピード切替機能の設定状態を確認する

1 Dボタンを押す

●識別表示、斜め締め低減機能、スピード切替機能の設定状態を順に表示します。
例:“H3” → “R1” → “10”

本体別の識別表示
・GA1:“H1”
・GA2:“H2”
・GA3:“H3”

締付本数お知らせ機能、無線使用範囲制限機能の設定状態を確認する

1 Cボタンを押す

●締付本数の設定値、現在のカウント本数、使用範囲制限機能を順に表示します。
例:“50” → “35” → “C0”

お手入れ・保管

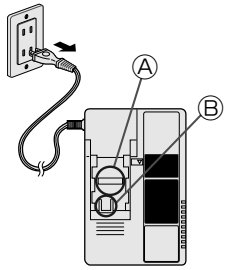
お手入れのしかた

やわらかい布でふく

ぬれた布やシンナー、アルコール、ベンジンなど揮発性のものは使用しない。
（変色・変形・割れの原因）

充電器の電池パック装着部のゴミを取り除く

●電源プラグをコンセントから抜く。



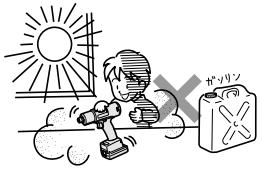
リチウムイオン電池パック装着部

●カバーを押さえてⒶとⒷの部分にある端子を露出させる。
●Ⓐ：ブラシなどで端子に無理な力がかからないようにゴミを取り除く。
●Ⓑ：布などでゴミを取り除く。

保管のしかた

以下の条件を避けて保管してください。

●車中などの高温場所
●直射日光のあたる場所
●水や湿気などの多い場所
●ゴミやほこりの多い場所
●子供の手の届く場所
●ガソリンなどの引火物がある場所



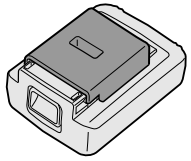
電池パックについて

⚠危険

●**当社充電工具専用の充電式電池パック以外を使わない。改造した電池パック（分解して内蔵部品を交換した電池パックを含む）も使用しない。**
●**電池パックは、火への投入、加熱をしない。**
発熱・発火・破裂のおそれがあります。
●**本体または充電器からはずした後は、電池パックにパックカバーを必ず取り付ける。**
取り付けないと電池端子が短絡して発火のおそれがあります。

長持ちさせるために

●リチウムイオン電池パックは使用後、<u>充電せずに保管</u>してください。
●使用時以外は、ホコリの付着や短絡防止のためパックカバーを取り付けてください。



●端子部に異物が付着している場合は、取り除いてください。

電池パックの寿命

フル充電しても初期の半分程度の作業しかできないときは製品寿命です。
当社充電工具専用の電池パックをお買い求めください。当社指定以外の電池パックを使用された場合の事故・故障については、一切の責任を負いかねます。

ご注意

電池パックの中の蓄電池のみを交換したリサイクル修理品の電池パックは使用しないでください。事故や故障のおそれがあります。

リサイクルについて

この製品に使用しているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済み電池パックは再利用しますので廃棄しないでお買い求めの販売店へお持ちください。
（電池パックは短絡防止のため、端子部に絶縁テープを貼ってください。）

Li-ion
リチウムイオン電池はリサイクルへ

電池パックを長時間使用しないときは

保管の前に	充電せずに保管
再使用の前に	フル充電

能力・仕様

本体能力

品番			EYFGA1	EYFGA2	EYFGA3
おすすめ作業（ボルト強さ）			ビス　M5・M6（普通～高力）		
トルク設定範囲			2～5.5 N·m	5～7 N·m	5～10 N·m
トルク設定段数			60段階（約0.08 N·m刻み）	60段階（約0.08 N·m刻み）	60段階（約0.13 N·m刻み）
締付トルク精度※			±10%　Cmk≧1.67（3 N·m以上		最高回転数設定時）
作業量・作業スピード（1パック・フル充電で）	EYFB41装着時	ハードジョイント	約1,200本・約1.1秒/本	約1,050本・約1.0秒/本	約1,100本・約1.0秒/本
		ソフトジョイント	約540本・約1.3秒/本	約410本・約1.3秒/本	約310本・約1.4秒/本
	EYFB42装着時	ハードジョイント	約2,700本・約1.1秒/本	約2,350本・約1.0秒/本	約2,500本・約1.0秒/本
		ソフトジョイント	約1,250本・約1.3秒/本	約1,000本・約1.3秒/本	約730本・約1.4秒/本

＜測定条件＞当社規定の測定条件による。
※ISO 5393規定の測定条件による。
締付トルク、締付トルク精度は作業状況により変動します。ご使用前に必ず実際の作業で確認してください。

能力・仕様(つづき)

本体仕様

▲ EYFB41装着時　△ EYFB42装着時

品番		EYFGA1	EYFGA2	EYFGA3
		N・NR	N・NR	N・NR
適用ビット 寸法(単位:mm)		片頭9～13 両頭12～16		
モータ電圧		DC14.4 V		
回転数 (単位:回転／分)		0～800	0～750	0～450
質量※ (重量)	▲	約1.25 kg	約1.25 kg	約1.3 kg
	△	約1.5 kg	約1.5 kg	約1.5 kg
大きさ (概略寸法)	全長	約199 mm		
	全高	約232 mm(EYFB41)、約249 mm(EYFB42)		
	全幅	約54 mm(電池パック最大幅　約75 mm)		
充電時間		EYFB41 実用充電:約30分　フル充電:約35分 EYFB42 実用充電:約40分　フル充電:約55分 ●測定条件　温度:室温(20 ℃)		

※質量(重量)は0.05 kg刻みで記載しています。

ワイヤレスリモコン仕様

品番	EYFA31	質量(重量)	約29 g(コイン電池含む)
電源	DC3 V	大きさ(概略寸法) 全長×全高×幅	約54×86×10 mm

エラー表示について

本体、電池パックに異常がある場合、本体パネルにエラー表示が点滅します。
修理を依頼される前に下記の点検をお願いいたします。

表　示	考えられる原因	処置
E1	設定エラー。	リモコンで再度本体の初期化設定をする。 P24参照
E2	電池パックが高温になっている。	作業を中断し、電池パックの温度が下がってから使用する。
E3	本体が高温のため、動かない。	作業を中断し、本体の温度が下がってから使用する。
E4	電池パックと本体の接点部にゴミが付着している。	ゴミを取り除く。
	電池パックと本体の取り付けが不十分。	電池パックを本体に確実に取り付ける。
	本体または電池パックの端子が磨耗している。(寿命)	電池パックを交換する。
E5	モータの故障など。	
E7	本体回路の異常・故障など。	
E9	使用範囲制限機能が作動している。	・使用範囲制限機能をOFFにする。 ・無線通信範囲内で電池パックを抜き差ししてから使用する。

左記の点検をしてもなお異常がある

ただちに使用中止
- 本体、充電器、電池パックとリモコンをセットでお買い上げの販売店へお持ちください。

故障かな？と思ったとき　修理を依頼される前に下記の点検をお願いします。

	症状	考えられる原因	処置
充電時	充電完了した電池パックを再度充電すると、充電状態ランプ(グリーン)が点灯する。	フル充電を検知するのに時間がかかるため。	しばらくするとフル充電完了(グリーン:速い点滅)になります。
充電時	充電中、テレビ・ラジオに雑音が入る。	高周波で制御しているため。	別のコンセントで、充電する。テレビ・ラジオから離して充電する。
充電時	電池パックを差し込んでも充電状態ランプ(グリーン)が点灯しない。	充電器と電池パックの接点部にゴミが付着している。	ゴミを取り除く。 P26参照
充電時	電池パックを差し込んでも充電状態ランプ(グリーン)が点灯しない。	電池パックの温度が60 ℃以上になっている。	周囲温度が5～40 ℃の場所で充電する。5～40 ℃の場所で充電している場合は、そのまま充電を続けてください。電池パックの温度が充電に適した温度になると自動的に充電を開始します。
充電時	充電中に保護待機中の状態になる。(オレンジ色のランプが遅く点滅)	電池パックの温度が－10 ℃以下になっている。	周囲温度が5～40 ℃の場所で充電する。5～40 ℃の場所で充電している場合は、そのまま充電を続けてください。電池パックの温度が充電に適した温度になると自動的に充電を開始します。
作業時	動かない。(エラー表示が点滅)		エラー表示を確認する。 P29参照
作業時	トルク制御機能で自動停止した後、スイッチを引いてもすぐに動かない。	２度締め防止機能が働いている。	２度締め防止機能を解除する。 P18参照
作業時	動かない。(電池残量ランプが点滅する)	電源自動停止機能が働いている。(電池パックの残量が少ない)	電池パックを充電する。 P10参照
作業時	本体パネルのボタンを押しても操作できない。(ライトが点灯しない)	電池パックと本体の接点部にゴミが付着している。	ゴミを取り除く。
作業時	本体パネルのボタンを押しても操作できない。(ライトが点灯しない)	電池パック取付直後や、5分以上何も操作していない。	スイッチを引く。
作業時	本体パネルのボタンを押しても操作できない。(ライトが点灯しない)	電池パック装着後、1回も作業していない。	スイッチを引く。
作業時	本体パネルのボタンを押しても操作できない。(ライトが点灯しない)	電池パックを充電していない。	充電する。 P10参照
作業時	本体パネルのボタンを押しても操作できない。(ライトが点灯しない)	電池パックが故障している。	新しい電池パックを購入する。 P9参照
作業時	フル充電しているのに締付トルクが弱い。または回転が遅い。	トルク制御機能が動作している。	作業に合ったトルク段数に設定する。 P12参照

左記の点検をしてもなお異常がある

ただちに使用中止

- 本体、充電器、電池パックとリモコンをセットでお買い上げの販売店へお持ちください。

故障かな？と思ったとき(つづき)　修理を依頼される前に下記の点検をお願いします。

	症　状	考えられる原因	処　置
作業時	**本体パネルの表示が正しくない。**	高圧線の近くなど、電磁波の影響をうけている。	故障ではありません。ただし電子回路の誤動作により予期せぬ動作をする可能性がありますので使用しないでください。
	スイッチを切ると、停止音がする。	ブレーキの動作音です。	故障ではありません。
	フル充電してもネジ締めの本数が少ない。	ネジの頭からビットがはずれやすい。	新しい先端工具と交換してください。
		電池パックの寿命。	新しい電池パックを購入する。 P9参照
	ボルトが締まりきらない。	クラッチトルク段数設定が作業に合っていない。	作業に合ったクラッチトルク段数に設定する。 P12参照
		ギヤ部磨耗による性能低下(寿命)	締付トルクを確認してください。
	ボルトが締まりすぎる。	クラッチトルク段数設定が作業に合っていない。	作業に合ったクラッチトルク段数に設定する。 P12参照
		同じボルトを2回締め付けている。	2度締めはしないでください。
	トルク制御機能が作動しない。(本体が自動的に停止しない)	スイッチを最後まで引き込んでいない状態で使用している。	スイッチを最後まで引き込んだ状態で使用してください。

左記の点検をしてもなお異常がある

ただちに使用中止

- 本体、充電器、電池パックとリモコンをセットでお買い上げの販売店へお持ちください。

	症　状	考えられる原因	処　置
リモコン使用時	本体の設定変更ができない。	本体が設定変更モードになっていない。	本体を設定変更モードにしてください。 P20参照
		リモコンの電池切れ	コイン電池を交換してください。 P11参照
		リモコンの発光部、または本体の受光部が汚れている。	汚れをふきとってください。
		リモコンの操作範囲外で使用している。	リモコンが使える範囲内で使用してください。 P11参照
その他	● 電源プラグをコンセントに差し込んでもランプが点灯しない。 ● 充電器に電池パックを差し込んだとき冷却ファンが送風を始めない。 ● 充電開始直後に充電状態ランプが点灯・点滅しない。 ● 「保護待機中」(オレンジ：遅い点滅)後、1時間以上しても「充電中」(グリーン：点灯)にかわらない。 ● 「充電中」(グリーン：点灯)後、1時間以上充電しても「フル充電完了」(グリーン：速い点滅)にならない。		

左記の点検をしてもなお異常がある

ただちに使用中止
- 本体、充電器、電池パックとリモコンをセットでお買い上げの販売店へお持ちください。

アフターサービス （よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理 などは

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

■補修用性能部品の保有期間 5年

当社は、この充電スクリュードライバーの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後5年保有しています。

修理を依頼されるときは

30～35ページの表でご確認のあと、直らないときは、まず、電池パックをはずして、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電　話	（　　）　　ー
お買い上げ日	年　　月　　日

●製品名	充電スクリュードライバー
●品　番	EYFGA1（N·NR） EYFGA2（N·NR） EYFGA3（N·NR）
●故障の状況	できるだけ具体的に

■相談先がなくお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、下記窓口へ。

※「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。

http://panasonic.co.jp/cs/

●使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック お客様ご相談センター

365日 受付9時～20時

電 話 フリーダイヤル **0120-878-365**

携帯PHS OK

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「550＃」を押してください。
（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**

■FAX　フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社
パワー機器ビジネスユニット
〒514-8555 三重県津市藤方1668番地

© Panasonic Corporation 2013